



Re-Unison



東京修懺会



本日は平成25年度東京修猷会総会にお越しいただき、
誠にありがとうございました。

次は「二木会」にも いらっしゃいませんか？

東京修猷会は毎月第2木曜日、神田の学士会館で
講演会を開いています。総会より小規模ですが、そのぶん
親密で活発な交流が行われていますので、社会人の皆さんは
もちろん、学生さんたちもぜひお越しください。

二木会の案内は東京修猷会に入会され、会費を納められた
館友の皆様に、ハガキかメールでお送りしています。
ご希望の方は、下記より手続きをお願いいたします。

パソコン <http://bit.ly/ZLsmeT>

ハガキ 〒185-0034
東京都国分寺市光町 2-14-85
(有)パルティール内
東京修猷会事務局

F A X 042-573-5060



※ハガキ・F A Xには、お名前（ふりがな）、卒業年、自宅住所、電話番号、
メールアドレス（あれば）、勤務先または学校名（任意）、高校時代の
所属クラブ（任意）をご記入ください。

修猷金言集(先輩の言葉)

其の四

緒方竹虎（ジャーナリスト・政治家／明治39年中学卒、昭和31年没）

ただ一つ忘れ得ないのは、卒業の時に先生方の^{きよきん}贖金で賞品をもらった
ことである。という、非常に秀才であったかのように聞こえるが、実は
五年間、無欠席、無遅刻、無早退、しかも調べてみると兄の大家も同様
だったというので急に賞品を与えることになったものらしい。だが学校
にはその費用がない。そこで先生方がどうせ多くない月給の中から
幾円かずつかを割り、それで英和辞典と英語のイディオムの辞書とを
二冊買って、卒業証書とともに館長から渡された。何という心のこもった
贈物であろう。僕は当時の感激を回顧して今でも眼が熱くなる。修猷館
こそは僕の心のふるさとである（「僕の修猷館時代」[昭和27年記]）

東京修猷会の栞(無二の会編)

平成25年(2013)6月14日発行

企画・制作

平成25年度東京修猷会総会実行委員会
(委員長：中川峰郎、副委員長：山田一美)

企画：伊藤 信哉 田尻 公一
石川 和幸 樋口 雄人
安原 晴弘 鈴木 均
装丁・デザイン：三宅 尋美
題字：森木久美子
Re-Unison(画)：高瀬 美子

東京修猷会とは

東京修猷会(修猷館同窓会東京支部)は、首都圏を網羅し、世代を越えた修猷館の卒業生(館友)の交流と親睦の場として、さまざまな活動を展開している同窓会組織です。会員数は**6,000名**を超えており(2013年5月現在)、全国各地に散らばる12の地方支部のなかでも、最大の規模を誇ります。

毎年6月に開催される「**総会**」と、毎月開かれる「**二木会**」(6月と8月は休み)が、活動の中心となっています。

2013

A yearly schedule

☒	1月初頭	会報を発行し全会員に送付
☒	10日	二木会 於:学士会館
☒	2月14日	二木会 於:学士会館
☒	3月14日	二木会 於:学士会館
☒	28日	春期常任幹事会
☒	4月11日	二木会(新人歓迎会) 於:学士会館
☒	21日	二木会ゴルフコンペ
☒	5月 9日	二木会 於:学士会館
☒	6月14日	総会
☐	7月11日	二木会 於:学士会館
☐	9月21日	サロンド・修猷 於:学士会館
☐	10月10日	二木会 於:学士会館
☐	20日	二木会ゴルフコンペ
☐	24日	秋期常任幹事会
☐	11月14日	二木会 於:学士会館
☐	12月12日	二木会忘年会

東京修猷会の歴史

Column 1

最初の「同窓会」

修猷館に初めて「同窓会」が生まれたのは、明治 28 年のことでした。しかしそれは職員と生徒の体育活動のための組織で、剣道・柔道・陸上競技・野球の 4 部に分かれて活動していたのです。つまり現在の同窓会とは違い、校内における運動部のような存在だったと思われます。

福岡に拠点をおき、館友全体を包含する「修猷館同窓会」の起源は、明治 25 年(1892)に発足した「修猷館館友会」にまで遡ります。
また戦前の東京にも、東京帝国大学や東京商科大学に進学・卒業した館友からなる「同窓会東京支部」的な組織がありました。しかし正式に「修猷館同窓会東京支部」が発足したのは戦後のことで、昭和 28 年(1953)7月7日、東京ステーションホテルで最初の総会が開かれたのを契機に、「東京修猷会」は成立したと考えられています。

東京修猷会 歴代会長(世話役)

昭和 29 年(1954)～	初代世話役	安川第五郎 (明治 39 年卒)
昭和 33 年(1958)～	世話役	徳永 貞砥 (明治 40 年卒)
昭和 37 年(1962)～	世話役	佐藤 与助 (明治 43 年卒)
昭和 47 年(1972)～	世話役	太田 清蔵 (明治 45 年卒)
昭和 52 年(1977)～	会長	倉田 興人 (大正 10 年卒)
昭和 58 年(1983)～	会長	松尾 金蔵 (昭和 4 年卒)
平成 3 年(1991)～	会長	有吉 新吾 (昭和 4 年卒)
平成 9 年(1997)～	会長	野上 三男 (昭和 20 年卒)
平成 13 年(2001)～	会長	藤吉 敏生 (昭和 26 年卒)
平成 19 年(2007)～	会長	箱島 信一 (昭和 31 年卒)
平成 23 年(2011)～	会長	中川 勝弘 (昭和 35 年卒)

東京修猷会 役員一覧

会 長	中川 勝弘	S35 卒			
副会長	大須賀頼彦	S37 卒	副会長	清田 瞭	S39 卒
相談役	宮川 一二	S12 卒	相談役	野上 三男	S20 卒
相談役	藤吉 敏生	S26 卒	相談役	箱島 信一	S31 卒
顧 問	甲畑真知子	S44 卒			
監査役	広瀬 豊	S43 卒			
幹事長	土肥 研一	S46 卒			
副幹事長	寺岡 隆宏	S52 卒	副幹事長	松尾 隆広	S54 卒
副幹事長	中原 誠也	S54 卒	副幹事長	岡藤 正章	S55 卒
副幹事長	真砂 千恵	S55 卒	副幹事長	田中 昭人	S56 卒
副幹事長	古川 晴美	S57 卒	副幹事長	西岡 修	S57 卒
副幹事長	原沢 由美	S58 卒	副幹事長	服部 豊	S59 卒

東京修猷会 規約

第1条 (名 称)

この会は修猷館同窓会東京支部（東京修猷会と略称）と称する。

第2条 (目 的)

当支部は修猷館同窓生の親睦を図り、あわせて後進の誘掖に資することを目的とする。

第3条 (事務局)

当支部は東京都内に連絡事務所を置き、本部や会員との連絡にあたる。

第4条 (会 員)

当支部は修猷館同窓生中の関東地区在住者を会員とする。

第5条 (総 会)

当支部は年1回、6月に定期総会を開催し、必要あるときは臨時総会を開催する。

第6条 (修猷二木会)

修猷二木会は当支部に伝統的に存続する親睦会で、毎月第2木曜日に定期の会合を催す。
年会費納入者を案内の対象とし、その運営に関することは、役員会で定める。

第7条 (役 員)

当支部に次の役員をおく。名誉会長1名、会長経験者より推戴する。
会長(支部長)1名・副会長3名以内・幹事長1名・副幹事長10名以内・会計監査1名・相談役又は顧問若干名・常任幹事 若干名(卒業各年次の同期生中より1名乃至2名の候補者を推薦)

会長は、常任幹事会において選任される。会長は、会務を総理し、他の役員を任命する。改選後の会長及び他の役員名は、総会にて報告される。役員の任期は2年とするが、重任を妨げない。役員会は、会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、随時、相談役、顧問の出席を求める。

常任幹事は同期生会員との連絡等事務局に協力すると共に支部の運営につき意見具申を行なう。

第8条 (会 費)

当支部の会員は、会の運営のために年額3,000円の会費を負担する。

第9条 (会 計)

当支部の経費は、年会費、寄付金、その他の収入によって支弁する。
会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日とし、次期総会に収支決算報告を行なう。

総会、二木会等の会合費はその都度必要額を徴収する。

第10条 (慶弔費)

当支部に貢献した会員の慶弔については応分の対応をなすことにし、その内容については、適宜役員会において定めるものとする。

第11条 (出張費)

当支部を代表して本部総会その他に出席する場合、その代表者に出張費などを支給する。但しその明細については、別途施行規定による。

第12条 (付 則)

この規約の改廃は、総会に於いて過半数の同意を得て行なう。また、この規約の実施に当って必要があれば、別に施行規定を設けることができる。

Column2

インターネット同窓会

インターネットの発展に伴い、ネット上で同窓会の活動を展開する可能性も拡がりつつあります。
東京修猷会も専用のウェブページ(<http://www.shuyu.gr.jp/tky/>)を持っていますし、今年の学年幹事(無二の会)は、全体の3分の1を超える(156人)同期がfacebookに登録して、今回の総会の打合せや準備を進めました。

東京修猷会 総会

毎年6月に開かれる、本会最大のイベントです。近年は参加者も増加し、平成22年度は690名に達しました。学年幹事(今年は昭和62年卒〔無二の会〕)を中心に、1年以上前から準備が進められており、当日は館長による修猷の近況報告、恩師紹介などのほか、テーマに即した学年幹事による企画が繰り出されます。



Column3

学年幹事制度

修猷館同窓会では45歳になる年に東京修猷会の、48歳になる年に福岡の本部同窓会の、そして50歳になる年に近畿修猷会の総会幹事を務める慣例となっています。そのため、どの学年もこの時期に、同窓との交流が復活する人が多いようです。

近年の総会の概要

平成21年度総会 (2009年6月5日)

幹事 昭和58年卒(いっちょやる会) 実行委員長 島 保弘

場所 グランドプリンスホテル赤坂

テーマ 『修猷魂を次代に、そして世界に繋ぐ』

参加者数 628名

恩師紹介 梅野先生(体育)
新谷先生(国語)
岡本先生(体育)

幹事企画 現役修猷生の声を映像で紹介、6学年共演のエール「飛燕の舞」、バンド演奏等



The New Young Knights (昭和41年卒)

平成22年度総会 (2010年6月4日)

幹事 昭和59年卒(悟空会)

実行委員長 服部 豊

場所 ホテルオークラ東京

テーマ 『「今」に伝える、「今」を伝える』

参加者数 690名

恩師紹介 深江先生(体育・教頭)
北崎先生(体育)
安部先生(英語)

幹事企画 テノール歌手である森田澄夫先輩による指揮監修のもと結成された合唱団による「カンタータ修猷讃歌」、館歌・応援歌メドレーなど



「カンタータ修猷讃歌」の様子

平成23年度総会 (2011年6月3日)

幹事 昭和60年卒(猷馬会)

実行委員長 山崎 琢哉

場所 ホテルオークラ東京

テーマ 『プレイバック修猷!』

参加者数 624名

恩師紹介 大津先生(音楽)
浅田先生(英語)

幹事企画 修猷館史に関するクイズ(年代別のチーム対抗、異なる年卒3名で1チーム)、Ustreamで会場から中継等



「修猷館史に関するクイズ」の様子

平成24年度総会 (2012年6月15日)

幹 事 昭和61年卒 (六一会) 実行委員長 刀襴 晋輔

場 所 ホテルオークラ東京

テ ー マ 「GO AHEAD! 修猷!」

参加者数 624名

恩師紹介 小島先生 (数学)

幹事企画 「今の修猷館を探访」
するビデオ&トークショー、修猷
ならではの習慣・事例などを
掲載した「みんなのバイブル
『修猷ルール』」発刊等



今の修猷館を探访するビデオ&トークショーの様子

修猷金言集 (先輩の言葉)

其の巻

團 琢磨 (工学者・実業家/藩校出身、昭和7年没)

自分を治め得ぬ人間は、人を治めることはできない

田中耕太郎 (法学者・元最高裁判所長官/明治41年中学卒、昭和49年没)

君たちは死にいくのではない。武者修行に行くと思え
(東京帝国大学法学部生の出征壮行会での挨拶)

中村天風 (思想家・実業家/明治25年中学中退、昭和43年没)

信念の力というのは、実に諸事万事を完全に
根本的な要素なのである

東京修猷会 二木会

総会と並ぶ東京修猷会の中心行事です。
館友を中心に各界で活躍する講師を招
き、貴重なお話を伺うとともに、その
後の懇親会では世代を越えた交流を行
っています。

「二木会」は他の地方支部や他校の同窓
会にはない、本会独自の活動のひとつで、
毎回の出席者は平均90名にのびります。
毎月第二木曜に神田学士会館で開くのが
定例ですが(6月と8月は休み)、最近
は9月に「サロン・ド・修猷」(文化や芸術
などをテーマに土曜午後開催)を、
また12月は忘年会を開催しています。

Column4

二木会の起源

二木会の起源は田中耕太郎・
最高裁長官 (M41 卒) や
岡安彦三郎・東京都副知事
(T6 卒) などを中心とする
昼食会が起源で、昭和29年
11月に始まりました。当初
は丸の内富士パーラーが会
場でしたが、のち東京駅の精
養軒食堂や、如水会館など
でも開かれています。

二木会 これまでの講師陣

二木会は平成26年3月、第600回を迎えます。

講師を務められた方も数百名を数えますが、これまでに、次のような方々が
講壇に立たれております。

※肩書は当時

細川 護 熙	(第400回/外部講師/前熊本県知事)
西高辻信良	(第436回/ S47 卒/太宰府天満宮宮司)
山崎 拓	(第450回/ S30 卒/衆議院議員)
青木 裕子	(第453回/ S44 卒/NHKアナウンサー)
西村 英俊	(第496回/ S36 卒/日商岩井(株)社長)
葉室 鐵 夫	(第517回/ S10 卒/ベルリン五輪金メダリスト)
荒谷 俊 治	(第524回/ S23 卒/日本指揮者協会会長)
宮本 雄 二	(第569回/ S40 卒/前中国大使)

583回	4月	福山正文 (S35卒／臨濟宗大徳寺派 海晏山・興徳寺住職) 「禅とは？より良く生きるとは？」
584回	5月	田中素香 (S38卒／日本国際経済学会顧問 日本 EU 学会理事) 「欧州危機の現状と展望」
585回	7月	加藤泰彦 (S38入学／三井造船 (株) 代表取締役社長) 「日本の重工業産業の新たな挑戦」
586回	9月	サロン・ド・修猷 「名なしの森の中で一魅惑の芸術の世界をあなたに一」
587回	10月	堤尚広 (S55卒／防衛省地方協力局提供施設課長) 「日本の ODA (政府開発援助) の果たす役割」
588回	11月	大塚久哲 (S42 卒／九州大学大学院工学研究院社会基盤部門教授) 「東日本大震災を経験して考えること」
	12月	忘年会
589回	1月	福江一郎 (S40卒／三菱重工業 (株) 特別顧問) 「どうなる日本のエネルギー」
590回	2月	楠本修二郎 (S58卒／カフェ・カンパニー (株) 代表取締役社長) 「カフェのある風景を創る」
591回	3月	横倉義武 (S38卒／日本医師会会長) 「日本の医療制度について」

※肩書は当時



1. 館歌制定の経緯

明治期の修猷館に館歌はありませんでした。大正5年(1916)には、在校生から歌詞を募り「春荒陵に花咲きて」から始まる「館歌」が定められましたが、そのメロディーは、今ではよくわかりません。

その後、今からちょうど90年前の大正12年(1923)に、現在の館歌が正式に定められました。作詞と作曲はそれぞれ本校の教諭によるもので、同年3月5日の卒業式の席で初披露されています。同年7月の『同窓会雑誌』(現在の雑誌『修猷』)によれば、その制定の趣旨は「朝夕諷誦の間に於て剛健質朴の気を鼓舞し館の理想とする忠君愛国の士を養成せん」ことにありました。

2. 歌詞の変更

じつは制定当時の館歌は、現在のそれと少し違っていました。伝えられるところでは昭和5年(1930)に、ある教諭の提案により
①「荒き波穂と湧き立ちて」が「荒き怒濤と湧き立ちて」に、
②「質朴の風を甘なひつ」が「質朴の風きたへつつ」に、
③「吾等の使命を果さなん」が「吾等の使命を果してん」に
改められました。

ただ昭和10年(1935)の雑誌『修猷』をみると、
①については「怒濤」に「なみほ」と振り仮名が打ってありますのでこのころはまだ「なみほ」と歌っていたとも推測されます。また細かいところですが、制定当時は「百道原」に「ももぢばら」と振り仮名が打たれていますが、昭和10年には「ももぢはら」に変わっています。

(「ももちがはら」だった時期もあるようです。)

3. 戦後の館歌

終戦により、校名と同じく「館歌」にも、各方面から変更の圧力がかったと推測されますが、詳しいことはよく判りません。

ただ昭和20年代から、生徒総会などでたびたび「皇国の為に」の一句を変更すべきとの声が挙っています。そのつど議論百出、賛否両論が出ましたが、最終的に「伝統の歌を残そう。『みくに』は自分たちが住んでいる『日本のくに』としてとらえればいい」という意見が大勢を占め、ついに変更には至りませんでした。

(それとの関係は不明ですが、「皇国」を「御国」と印刷した例もあるようです。)

一方、変更された例ですが、昭和55年(1980)ごろ、2番の「青春の血は玄海の」のくだりについて、発音は同じですが「青春の血は玄界の」の表記も見られるようになりました。

ところで今回の調査で、判明しなかったことがあります。

3番の歌詞の最後の部分、「吾等の使命」は、現在では「吾等が使命」に変わっています。

この変更は昭和40年代(1965～74)にされたようなのですが、具体的な時期と経緯について、なにか情報をお持ちの方がおられましたら、ご一報をいただければ幸いです。

修猷金言集(先輩の言葉)

中野正剛(ジャーナリスト・政治家/明治38年中学卒、昭和18年没)

国は経済によりて滅びず、敗戦によりてすら滅びず。指導者が自信を喪失し、国民が帰趨に迷うことによりて滅びるのである「戦時宰相論」昭和18年1月1日朝日新聞掲載。直接名指しはしていないが当時の首相・東条英機に対する批判であった

東京修猷会会員の現況

(平成25年5月19日現在)

1. 都道府県別会員数ベストテン

1位	東京	2,006人	(43.6%)
2位	神奈川	1,183人	(25.7%)
3位	千葉	657人	(14.3%)
4位	埼玉	350人	(7.6%)
5位	福岡	120人	(2.6%)
6位	茨城	118人	(2.6%)
7位	静岡	42人	(0.9%)
8位	群馬	18人	(0.4%)
9位	栃木	13人	(0.3%)
10位	愛知	12人	(0.3%)

※居住地登録者4,599人中(これ以外の7名は居住地以外を登録)

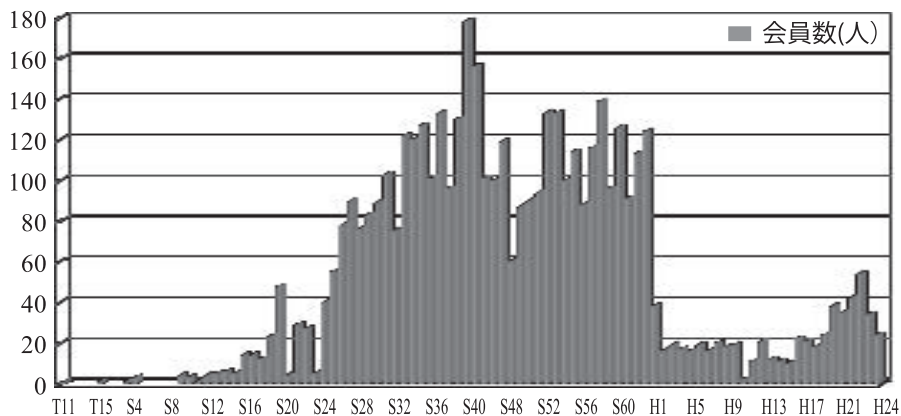
修猷金言集(先輩の言葉)

廣田弘毅(外交官・元首相/明治31年中学卒、昭和23年没)

ただ自然に死んで…すべては無に帰して、いうべきことは
いって、つとめ果たすという意味で自分は来たから、今更何も
いうことは事実ない、自然に生きて、自然に死ぬ

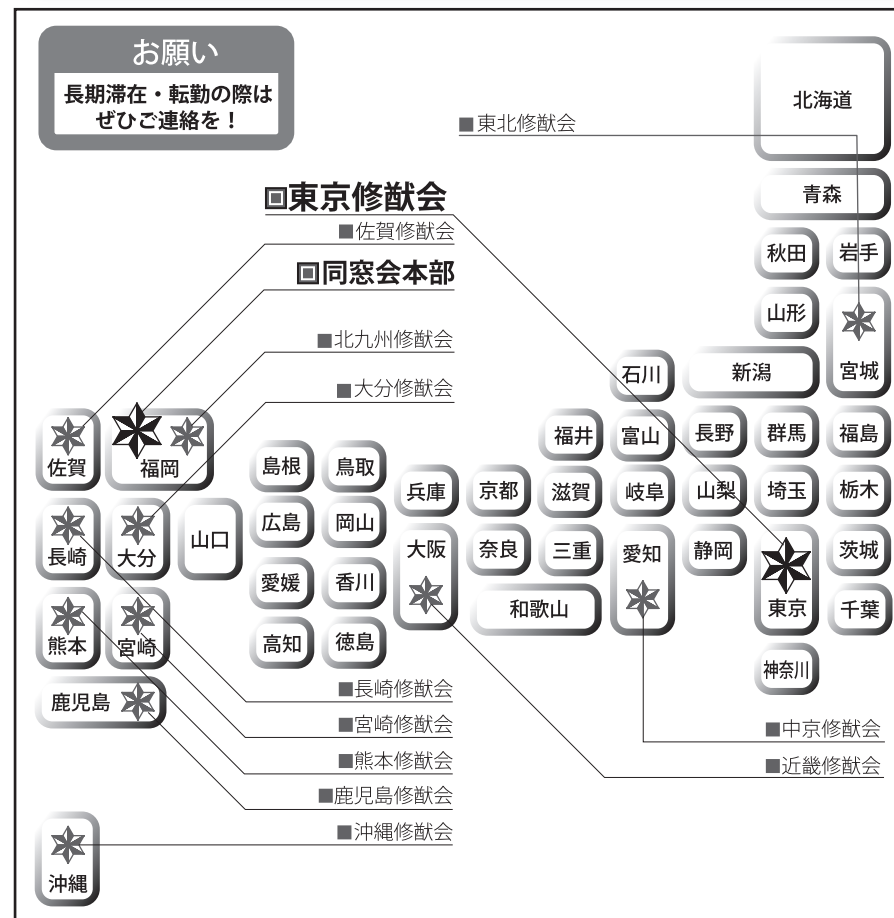
東京裁判で死刑判決を受けた後、昭和23年11月26日に
巣鴨拘置所で教誨師の花山信勝から何か言い遺すことはないか
と尋ねられて語った言葉

2. 卒業年度別東京修猷会会員数（住所判明分）



卒業年度	T11	T12	T13	T14	T15					
会員数	1	0	0	0	1					
卒業年度	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	S10
会員数	0	0	1	2	0	0	0	0	4	3
卒業年度	S11	S12	S13	S14	S15	S16	S17	S18	S19	S20
会員数	1	4	5	6	5	13	12	10	23	45
卒業年度	S21	S22	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30
会員数	4	27	26	5	37	54	76	90	74	83
卒業年度	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40
会員数	86	102	74	120	119	127	100	132	96	130
卒業年度	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50
会員数	176	154	101	99	119	60	87	89	92	129
卒業年度	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60
会員数	129	100	114	89	113	137	95	121	87	112
卒業年度	S61	S62	S63							
会員数	119	58	22							
卒業年度	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
会員数	18	14	15	18	16	19	17	19	1	11
卒業年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
会員数	18	12	11	7	19	20	17	23	34	29
卒業年度	H21	H22	H23	H24	H25					
会員数	34	48	33	32	20	合 計 4,605				

館友ネットワーク(地域別)



◇同窓会本部(会長 久保田勇夫 S36卒)
<http://www.shuyukan-dosokai.com/>
 〒814-0002 福岡市早良区西新6-2-12 修猷館同窓会
info11@shuyukan-dosokai.com

◇東京修猷会(会長 中川勝弘 S35卒)
<http://www.shuyu.gr.jp/ky/>
 〒185-0034 国分寺市光町2-14-85 (有)パルティール内 東京修猷会事務局
matsuo.tkh@nifty.com (松尾隆広/S54卒)

- ◇東北修猷会(会長 佐竹正夫 S41卒) <http://syuyukai.exblog.jp/>
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘2-39-26-101 出納克彦
ksharrk@mail.goo.ne.jp(出納克彦/S45卒)
- ◇中京修猷会(会長 蟹江脩 S38卒)
〒492-8213 稲沢市高御堂5-160-3 緑マンションB-208 満生修二
mann3syuu@yahoo.co.jp(満生修二/S45卒)
- ◇近畿修猷会(会長 松川雅典 S40卒) <http://www.kinki-shuyu.jp/>
〒525-0037 草津市西大路町10-5-410 林田三生
shuyu@kinki-shuyu.jp(林田三生/S40卒)
- ◇北九州修猷会(会長 中山真 S33卒)
〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2-1 株式会社安川電機人事総務部内
ikeuchi@yaskawa.co.jp(池内直樹/S62卒)
- ◇佐賀修猷会(会長 末次義視 S28卒)
〒840-8502 佐賀大学理工学部機械システム工学科 萩原世也
hagihara@me.saga-u.ac.jp(萩原世也/S56卒)
- ◇長崎修猷会(会長 中牟田真一 S41卒)
〒851-2129 長崎県西彼杵郡長与町齊藤郷11-3 柘植材木店
tsuruta@tsuge-z.co.jp(鶴田修/S44卒)
- ◇大分修猷会(会長 井上正文 S44卒)
〒870-1124 大分市大字旦野原700 大分大学構内宿舎1-51
inoue@oita-u.ac.jp(井上正文/S44卒)
- ◇熊本修猷会(会長 長谷川芳彦 S45卒) <http://groups.yahoo.co.jp/group/kumashuyu/>
〒862-0970 熊本市渡鹿7-7-6 井上昌治
kumashuyu-owner@yahoogroups.jp(井上昌治/S51卒)
- ◇宮崎修猷会(会長 河内進策 S35卒)
〒889-2192 宮崎大学農学部獣医学科 池田正浩
a0d302u@cc.miyazaki-u.ac.jp(池田正浩/S56卒)
- ◇鹿児島修猷会(会長 吉村望 S27卒)
〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24 鹿児島大学共同獣医学科 三好宣彰
miyoshi@vet.kagoshima-u.ac.jp(三好宣彰/S55卒)
- ◇沖縄修猷会(会長 瀧下修一 S37卒)
〒903-0213 琉球大理学部海洋自然科学科 山崎秀雄
hideoyamasaki2002@yahoo.co.jp(山崎秀雄/S55卒)

館友ネットワーク(部活動別)

生徒会 (執行部・議長団・両運営委員会)	
連絡先: sito@cc.matsuyama-u.ac.jp (伊藤信哉/S62卒)	
https://www.facebook.com/groups/308062239285594/	
新聞部	http://www.geocities.jp/shuyu1947np/
演劇部	http://ww2.tiki.ne.jp/~tttt/shuyusta/
物理部 (パソコン班)	http://tiara.cs.fit.sc.ne.jp/~miho/spc.htm
化学部	http://www6.ocn.ne.jp/~mrkm5/SCC/SCC_index.html
生物研究部	http://blog.goo.ne.jp/namaken-shuyu/arcv
無線部	http://www.shuyukan.org/ja6yaf/
吹奏楽部	http://new-west6110.sakura.ne.jp/
書道部「墨猷会」	http://www.geocities.jp/rokkosei/
ESS 部	http://syuyukaness.fc2web.com/index2.html
JRC 部	http://www.geocities.co.jp/HiTeens-Panda/4577/
剣道部「修猷剣友会」	http://shuyukenyukai.web.fc2.com/
水泳部「星泳会」	http://www.seieikai.net/
山岳部	https://sites.google.com/site/syuyualpob
野球部	http://www.asahi-net.or.jp/~hi4s-etu/index.html
硬式テニス部	連絡先: anna0503saito@facebook.com (齊藤行奈/S62卒) https://www.facebook.com/groups/598246700203017/
バスケットボール部	http://homepage2.nifty.com/shuyubasketball~obog/
バレーボール部	連絡先: yoshihito.enoshita@facebook.com (榎下喜人/S62卒) http://www.facebook.com/pages/修猷館高校バレー部/134383593303263
ラグビー部	http://www.rugby-shuyukan.com/
サッカー部	http://shuyukan-soccer.blog.so-net.ne.jp/
ヨット部	http://shuyu-yc.com/
バドミントン部	http://sports.geocities.jp/shuyu_shuttle_racket/